

2. 指標設定

成果指標	指標名		適正な財産管理	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値		—			普通財産の処分(売却、解体)と公用車の削減を行い財産維持管理費の削減に努める。			
活動指標	指標	a	普通財産処分(売却等)による財産収入の増	b	建物解体による維持管理費の削減	c	公用車の削減と適正な配置	d	職員による市有地の清掃
	数値	目標	30件(H22～)	目標	10件(H22～)	目標	70件(H23、H24)	目標	—

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
適正な財産管理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
a 普通財産処分(売却等)による財産収入の増	件	13 件 43.3 %	21 件 70.0 %	31 件 103.3 %
b 建物解体による維持管理費の削減	件	0 件 0.0 %	1 件 10.0 %	2 件 20.0 %
c 公用車の削減と適正な配置	件	19 件 —	29 件 41.4 %	49 件 70.0 %
d 職員による市有地の清掃	ヶ所	10 ヶ所 —	10 ヶ所 —	10 ヶ所 —

4. 課題と対応

課題
市有財産の老朽化による修繕や遊休地の清掃(草刈)範囲が年々多くなっている。
対応(改善点等)
土地・建物の処分と公用車の削減を進める。

5. 事業費・・・H22～H24(決算額)、H25(予算現額)

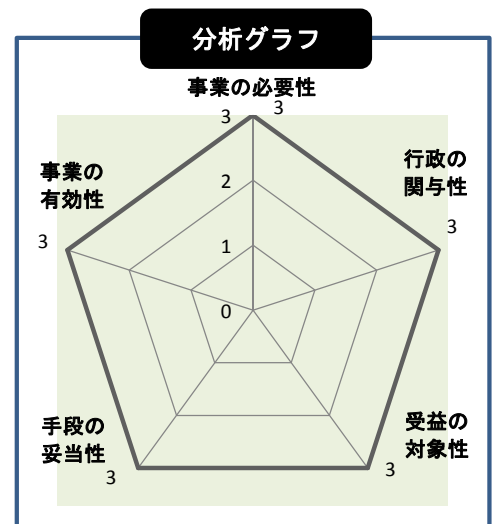
決算額(千円)		H22	H23	H24	H25
うち経常経費		105,471	109,314	193,522	174,277
		63,275	93,335	92,829	147,224
財源内訳	国費				
	県費	2,625	10,991		
	市債				
	その他	39,571	12,474	14,988	26,467
	一般財源	63,275	85,849	178,534	147,810
	うち経常	63,275	81,861	78,198	120,757
事業費に係る人件費		30,001	32,035	30,056	28,158
事業費に係る人役		6.85	7.45	7.00	6.46

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
予算のほとんどが必要経費であるが、普通財産処分や公用車の削減計画及び適正な配置により維持管理費の減額が見込まれる半面、旧校舎等の解体工事請負費の計上により昨年並となる。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 財産管理は法令等に基づき市が行うべき事業である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により財産の維持管理、処分を実施することが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市内全域にある市有財産管理事業である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 維持管理等の必要経費を削減するためには普通財産の処分(売却、解体)や公用車の削減は重要である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 財産処分による維持管理費削減の有効性は高いと判断できる



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、未利用財産の適正な処分に努めるとともに、財産管理に要する経費削減を図ること。